

科目名	コンピューターシステム I				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	小井手 武治
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年				
授業概要	経済産業省主催 基本情報技術者試験の出題範囲に準拠し、IT人材として必要な基礎知識のうちデータベース・システム開発・ストラテジ／マネジメント分野に関する知識を学ぶ。 基礎的な用語や考え方について体系的に学習し、演習問題を活用して習熟を図る。				
授業形態	講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○	○			
	○				
テキスト・教材 参考図書	情報処理試験合格へのパスポート システム開発技術(ウイネット) 情報処理試験合格へのパスポート マネジメントと情報化(ウイネット) 基本情報技術者試験 午前免除試験問題(麻生情報ビジネス専門学校)				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	【データベース/開発】データのモデル化、関係データベース			
	2	【ストラテジ/マネジメント】プロジェクトマネジメント			
	3	【データベース/開発】正規化			
	4	【ストラテジ/マネジメント】プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント			
	5	【データベース/開発】DBMS、保全機能と障害回復			
	6	【ストラテジ/マネジメント】サービスマネジメント、システム監査			
	7	【データベース/開発】障害回復、データベースの応用			
	8	【ストラテジ/マネジメント】システム戦略、情報システムの活用			
	9	【データベース/開発】要件定義、開発手法、システム設計			
	10	【ストラテジ/マネジメント】システム企画、企業活動、授業内評価テスト(マネジメント)			授業内容に係る授業内評価テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)
	11	【データベース/開発】外部設計,内部設計			
	12	【ストラテジ/マネジメント】経営戦略手法			
	13	【データベース/開発】オブジェクト指向,プログラミング			
	14	【ストラテジ/マネジメント】マーケティング			
	15	【データベース/開発】テスト手法			
	16	【ストラテジ/マネジメント】技術開発戦略、e-ビジネス			
	17	【データベース/開発】授業内評価テスト、復習			授業内容に係る授業内評価テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)
	18	【ストラテジ/マネジメント】企業会計			
	19	【データベース/開発】検定試験問題演習			検定試験対策演習を行うので、復習しておくこと(1時間)
	20	【ストラテジ/マネジメント】、法務			
	21	【ストラテジ/マネジメント】その他法規			
	22	【ストラテジ/マネジメント】標準化			
	23-28	検定試験問題演習			検定試験対策演習を行うので、復習しておくこと(2時間)
	29-30	総復習			

評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業の中で授業内評価テストを2回実施する (3)受講状況を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	◎			50%
	授業内評価テスト	◎	◎		○	40%
	受講状況				◎	10%
履修上の注意						

科目名	コンピューターシステムⅡA										
科目名(英)											
単位数	6単位		時間数		90時間		担当者		毛利 俊司・奥野 広成		
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験		ITエンジニアとして開発業務に従事		
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年										
授業概要	経済産業省主催 基本情報技術者試験の出題範囲に準拠し、IT人材として必要な基礎知識のうち、情報の基礎理論やハードウェア・ソフトウェア等に関する知識及びネットワーク・セキュリティに関する知識を学ぶ。基礎的な用語や考え方について体系的に学習し、演習問題を活用して知識の習熟を高める。										
	iCDタスクコード		該当なし								
授業形態	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					ハードウェアソフトウェア分野の用語について説明できる					
	○					ネットワーク分野の用語について説明できる					
	○					セキュリティ分野の用語について説明できる					
	○	○				表や文章に書かれている情報を元に計算式を導き出すことができる					
テキスト・教材参考図書	情報処理試験合格へのパスポート コンピュータ概論(ウイネット):ハードウェア・ソフトウェア分野 情報処理試験合格へのパスポート システム開発技術(ウイネット):ネットワーク、セキュリティ分野 基本情報技術者試験 午前免除試験問題(麻生情報ビジネス専門学校)										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1-5	基礎理論1(基数変換)					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	6-11	基礎理論2 /授業評価テスト					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	12-15	ハードウェア					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	16-20	システムの構成要素					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	21-22	ソフトウェア					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	23	マルチメディア・AI /授業評価テスト					前回までの授業で分からなかった点をまとめておくこと(1時間)				
	24-26	NWの基礎用語					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	27-29	情報セキュリティ、攻撃手法					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	30-32	情報セキュリティ・暗号化技術					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	33-35	情報セキュリティ・認証技術、セキュリティ技術					テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)				
	36	情報セキュリティ・リスク、管理 /授業評価テスト					前回までの授業で分からなかった点をまとめておくこと(1時間)				
	37-41	検定試験対策1(午前免除対策)					前回までの授業で分からなかった点をまとめておくこと(1時間)				
	42-45	検定試験対策2(午後の科目B対策)					前回までの授業で分からなかった点をまとめておくこと(1時間)				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業の中で授業内評価テストを3回実施する (3)受講状況进行评估する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
	定期試験	◎	◎				50%				
	授業内評価テスト	◎	◎		○		40%				
	受講状況				◎		10%				
履修上の注意											

科目名	コンピューターシステムⅢA											
科目名(英)												
単位数	6単位		時間数		90時間		担当者		志水徹・今村美穂・江利かおり			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験		ITエンジニアとして開発業務に従事			
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年											
授業概要	経済産業省主催 基本情報技術者試験の出題範囲に準拠し、IT人材として必要な基礎知識のうち、アルゴリズム分野に関する知識を学ぶ。初心者でも理解できるよう基礎的な用語や考え方について体系的に学習し、演習問題を活用して習熟を図る。プログラミングにつながるトレース力も身につける。											
	iCDタスクコード		DV05.7.3									
授業形態	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○	○				手順書からアルゴリズムの基礎となるフローチャートを書くことができる						
	○	○				基本情報処理技術者試験午後の言語問題および擬似言語問題でトレースができる						
テキスト・教材 参考図書	アルゴリズムとデータ構造(ウイネット)											
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示				
	1-2	第1章 アルゴリズム入門										
	3-8	第2章 流れ図の基本パターン										
	9-11	第3章 擬似言語の基本パターン										
	12	第1章～第3章の復習 授業内評価テスト①						授業内容に係る授業内評価テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)				
	13-17	第4章 計算のアルゴリズム										
	18-20	第5章 手続き・関数										
	21-28	第6章 配列										
	29	第4章～第6章の復習 授業内評価テスト②						授業内容に係る授業内評価テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)				
	30-33	第7章 探索のアルゴリズム										
	34-35	第10章 データ構造										
	36-41	第8章 整列のアルゴリズム										
	42	第7章～第10章の復習 授業内評価テスト③						授業内容に係る授業内評価テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)				
	43	第9章 オブジェクト指向										
	44-45	第10章～第11章(検定対策)										
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業の中で授業内評価テストを3回実施する (3)受講状況を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	◎		◎								50%
	授業内評価テスト	◎		◎				○				40%
	受講状況							◎				10%
履修上の注意												

科目名	一般教養 I A										
科目名(英)											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		畠添正和		
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年										
授業概要	就職試験でのSPI試験の要素である、国語及び数学に関して、基本をおさえて理解出来るようになる。中間に授業内評価テスト(2回:各30分)及び期末試験を実施し、理解度を把握し、フォローアップする。										
	iCDタスクコード		該当なし								
授業形態	講義: ○		演習:		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					就職試験頻出の漢字、同音異義語、四字熟語の読み書きができる					
	○	○				長文や図表を用いた数学問題で正しい式を考えることができる					
テキスト・教材 参考図書	就職筆記試験対策問題集(ウイネット)										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	国語:漢字の読み(1・2) 数学:式と計算(1)									
	2	国語:漢字の読み(3)、漢字の書き取り(1) 数学:式と計算(2)									
	3	国語:漢字の書き取り(2)、同音異義語(1) 数学:速さの基礎					これまでの学習内容で苦手とする項目を確認しておくこと				
	4	授業内評価テスト①(式と計算) 国語:同音異義語(2・3) 数学:旅人算									
	5	国語:同訓音字、語句の意味(1) 数学:通過算									
	6	国語:語句の意味(2)、同意語・類似語 数学:流水算									
	7	国語:反対語、授業内評価テスト対策(今まで学習したことの見直し) 数学:授業内評価テスト対策(今まで学習したことの見直し)					これまでの学習内容で苦手とする項目を確認しておくこと				
	8	授業内評価テスト②(数学:は・じ・き)									
	9	授業内評価テスト①②のフォローアップ 数学:割合の基礎									
	10	国語:四字熟語(1・2) 数学:濃度									
	11	国語:ことわざ(1・2) 数学:損益算									
	12	国語:慣用句・故事成語 数学:順列・確率									
	13	国語:敬語、適語補充 数学:集合									
	14	国語:文章整序、文章読解 数学:推理									
	15	総復習					これまでの学習内容で苦手とする分野を確認しておくこと(1時間)				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業の中で授業内評価テスト(30分)を2回実施する (3)受講状況进行评估する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験	◎		◎				50%			
	授業内評価テスト	◎		◎				30%			
	受講状況					○		20%			
履修上の注意											

科目名	GCB I										
科目名(英)											
単位数	1単位		時間数		16時間		担当者		志水徹・今村美穂・江利かおり・小井手武治・毛利俊司・奥野広成・川原弓佳		
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年										
授業概要	「感謝と思いやり」「自分のあり方」について講義、DVD、書籍を活用しながら、自ら考え、気づいたり、クラス内で話し合いや発表を行う。感謝と責任感、他者への思いやりを日常生活でカタチとして表現・実践できるようにする。										
	iCDタスクコード		該当なし								
授業形態	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					キャリア実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間)であることを説明できる					
	○	○				感謝心が人間力の根底であることを説明できる					
	○	○				人間力を高めるためのマナーの重要性を説明できる					
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシック I (麻生塾)										
授業計画	回数	授業項目・内容							授業外学修指示		
	1	グローバルシティズンを目指そう									
	2	「協働」の態度を持った学生生活									
	3	よりよい人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～							グループワークのテーマについて自分の考えをまとめてくること(30分)		
	4	マナーの本質 I									
	5	マナーの本質 II									
	6	グローバルシティズンとしての日常									
	7	グローバルシティズンとしての目標							自分の目標をまとめてくること(30分)		
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて									
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
評価方法	(1)課題・レポートを数回実施する (2)受講状況を評価する 以下を上記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	課題・レポート		○		○				◎		80%
	受講状況								◎		20%
履修上の注意	再試験は実施しない。										

科目名	ゼミナール I A										
科目名(英)											
単位数	1単位		時間数		16時間		担当者		志水徹・今村美穂・江利かおり・小井手武治・毛利俊司・奥野広成・川原弓佳		
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年										
授業概要	学校生活を送る上で必要となるマナーやルールを学び、学習を進めるうえで基盤となる力を身につける。複数のメンバーと協力し、チームに貢献できる力を養う。										
	iCDタスクコード		該当なし								
授業形態	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
		○		○		学校や社会生活において必要なマナーやルールを理解し説明できる					
		○		○		効果的な学習方法を身につけ、習慣的、自律的な学習ができる					
		○		○		友人や教師と友好的にコミュニケーションできる					
				○		チームワークの重要性を理解し、協調的な働きかけができる					
テキスト・教材 参考図書	なし										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	学校生活理解・・・学生生活規定、履修規定、成績評価規定					学生便覧内の該当する規定を読んでおくこと(30分)				
	2	クラス内コミュニケーション①・・・自己紹介					自己紹介内容を考えておくこと(30分)				
	3	クラス内コミュニケーション②・・・情報共有ゲーム									
	4	効果的な勉強方法について①講義・・・勉強の仕方					活動の振り返りレポートを作成すること(30分)				
	5	効果的な勉強方法について②講義・・・読解の仕方					活動の振り返りレポートを作成すること(30分)				
	6	効果的な勉強方法について③講義・・・暗記の仕方					活動の振り返りレポートを作成すること(30分)				
	7	学校生活理解②・・・学校生活充実度調査									
	8	学校生活理解③・・・今後の取得検定目標の設定					今後の検定受験計画を立て、レポートを作成すること(30分)				
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
評価方法	(1)課題レポートの提出状況を評価する (2)受講状況を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他 評価割合	
	課題レポート				○				◎ 80%		
	受講状況						◎		20%		
履修上の注意	再試験は実施しない。										

科目名	ビジネスソフトウェア演習A											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		河野明子・西原友紀			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年											
授業概要	Wordを使用して、ビジネス文書や表現力をアップする機能を使った文書やビジネス文書が作成できる。Excelを使用して、関数を含む表や表を基にしたグラフを作成する。											
	iCDタスクコード		該当なし									
授業形態	講義:		演習:		○		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
		○	○			Windowsの画面操作、文字入力ができる						
		○	○			Wordを使って、30分以内でビジネス文書を作成できる						
		○	○			Excelを使って基本的な表計算、計算式や関数の設定、グラフ作成ができる						
テキスト・教材 参考図書	よくわかる Microsoft Word 2019 & Microsoft Excel 2019 & Microsoft PowerPoint 2019 (FOM出版)											
授業計画	回数	授業項目・内容							授業外学修指示			
	1	Windowsについて、ウィンドウ操作、入力、タイピング ファイルの管理、データの準備										
	2	第1章Word_さあ始めよう/第2章Word_文書を作成しよう							宿題・レポート提出(1)			
	3	第2章Word_練習問題/第3章Word_グラフィック機能をつかってみよう							宿題・レポート提出(2)			
	4	第3章Word_練習問題/第4章Word_表のある文書を作成しよう							宿題・レポート提出(3)			
	5	第4章Word_練習問題/ビジネス文書について知ろう							宿題・レポート提出(4)			
	6	ビジネス文書作成/ビジネス文書演習							宿題・レポート提出(5)			
	7	総合問題Word_123/総合演習Word							小テスト			
	8	Word実技試験							授業内評価テスト(実技試験)は30分間です			
	9	第5章Excel_さあ始めよう/第6章Excel_データを入力しよう/第6章Excel_練習問題							宿題・レポート提出(6)			
	10	第6章Excel_確認問題/第7章Excel_表を作成しよう/第7章Excel_練習問題							宿題・レポート提出(7)			
	11	Word実技試験解説/第7章Excel_確認問題/第8章Excel_グラフを作成しよう							宿題・レポート提出(8)			
	12	第8章Excel練習問題/第9章Excel_データを分析しよう							宿題・レポート提出(9)			
	13	第9章Excel_練習問題/第13章アプリ間でデータを共有しよう_Step1-2							宿題・レポート提出(10)			
	14	総合問題Excel_4.5.6.9/Excel総合演習							小テスト			
	15	Excel実技試験							授業内評価テスト(実技試験)は30分間です			
評価方法	(1)授業内評価テスト(実技)を2回実施する (2)小テストを2回実施する (3)宿題を10回実施する (3)受講状況を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	授業内評価テスト(実技)				○		◎				40%	
	小テスト				○		◎		○		20%	
	宿題・レポート				○		◎		○		20%	
	受講状況								◎		20%	
履修上の注意												
	宿題・確認テストにおいて期限を守らない場合や基準を満たさない場合は、減点または追加宿題を設ける場合がある。 再試験は実施しない。											

科目名	プログラミング演習 I A						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	志水 徹・今村 美穂・江利 かおり		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年						
授業概要	Javaの開発環境とプログラミングの基礎文法となる条件分岐・繰り返し・配列を学んだ後、オブジェクト指向の基本的概念であるクラス、インスタンス、メソッドを中心に学習を進める。 各テーマの理解確認として複数の難易度別課題に取り組むことで、プログラミング力を養う。						
	iCDタスクコード	DV05.7.3, DV07.6.1～DV07.6.4, DV07.7.1～DV07.7.3					
授業形態	講義:	演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				Javaの開発環境を設定できる	
	○	○				条件文、繰り返しを用いたJavaプログラムを作成できる	
	○	○				クラスやインスタンス、メソッド等のオブジェクト指向に基づくJavaプログラムを作成できる	
テキスト・教材 参考図書	Java入門編第3版 ゼロからはじめるプログラミング(翔泳社)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Java環境設定					
	2	第1章 Java言語に触れる					
	3	第2章 変数、算術演算と式 確認テスト				確認テストの準備をしておくこと	
	4						
	5	第3章 条件分岐 (if)、複雑な条件分岐(if)					
	6						
	7	第3章 条件分岐 (switch)、論理演算子、復習					
	8						
	9	第3章 繰り返し (for)					
	10						
	11	第3章 繰り返し (while)、繰り返し復習					
	12						
	13	第3章 配列 確認テスト				確認テストの準備をしておくこと	
	14						
	15	第4章 メソッドの引数、mainメソッドの引数					
	16						
	17	第4章 メソッドの戻り値					
	18						
	19	第4章 メソッドのオーバーロード、メソッド復習 確認テスト				確認テストの準備をしておくこと	
	20						
	21	第5章 クラスとインスタンス					
	22						
	23	第6章 コンストラクタ、インスタンスメソッド					
	24	演習 探索プログラミング					
	25	演習 整列プログラミング					
	26	検定対策					
27-	検定対策、確認テスト				確認テストの準備をしておくこと		
30							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)確認テストを数回実施する (3)課題・レポートを数回実施する (4)受講状況进行评估する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%
	確認テスト	◎	◎				20%
	課題・レポート		◎		○		20%
	受講状況				○		20%
履修上の注意							